

令和6年9月13日、
目黒本町福祉工房では恒例の「本町まつり」を開催しました。
今年度ご利用者およびご家族の方々のみの参加となりましたが、施設のエントランス前にて自主生産品や屋上菜園で栽培した野菜の販売をしていただきました。



当委員会は、地域の高齢者の戸別訪問が難しく、災害時の連絡網を構築したい、という住民の声から、杉並区阿佐谷北二丁目を中心に、地域の社会資源（ケア24阿佐谷・民生委員・あんしん協力員・阿佐谷北二丁目町会・久遠キリスト教会・社会福祉法人いたるセンター等）が実行委員となって発足しました。いたるセンターでは、主に近隣のサポートウイズ（いたる訪問看護ステ-

ーション・いたる相談室・居宅介護支援事業所・移動支援事業所）と法人本部の職員が参加し、委員会の活動を支援してきました。活動としては、ミニ講座やお困りごと相談を受ける「なんでも相談会」と、認知症予防・はつらつ体操の実施としゃべり場を提供する「オレンジさろん」を月1回実施し、ゆるやかな地域連携のもと、参加者を少しずつ増やしてきました。今回の受賞を機に、さらに充実した地域貢献活動ができるよう、法人全体で取り組んでまいります。



令和6年度「杉並区健康づくり表彰」において、
団体の部・優秀賞」を受賞しました。



目次 contents

- 01 令和6年度
本町まつりを開催
令和6年度「杉並区
健康づくり表彰」において
「団体の部・優秀賞」を受賞しました。
- 02 事業所通信
事業部からの情報発信
- 03 *阿佐谷福祉工房
*イタル成城
*目黒本町福祉工房
*さんまるしえ
*あけぼの作業所
*パン工房クブク
*包括ケアセンター・
グループホーム
*サポートウイズ
- 04 事業所通信
事業部からの情報発信
*ピヨピヨおうちえん(保育)
*クローバー・マルコ
*すまいる高井戸

QRコードのご案内
いたるセンターホームページ
いたるセンターInstagram
いたるセンターフェイスブック

「いたる賛助会」では「いたるセンター」の活動を支援していただける方を募集しています。
「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨であります。
年会費 1口5千円（何口でも可）
郵便振り込み 00110712892
問 339217346 事務局 山本まで



事業部からの情報発信・事業所通信

■ピヨピヨおうちえん

マネジャー 大上茂樹

「ピヨピヨおうちえん」では、地域の子育て中の皆さんに少しでもお役に立てるようにと、季節の旬な食材を使った、おすすめレシピを配布したり、ご希望の方の身体測定を行ったりしています。おすすめレシピは月に2〜3回再発行するほど、手にして頂いています。

また、身体測定のリピーターの方も増えてお子さまの成長を楽しみにされています。「ピヨピヨおうちえん荻窪駅前」では毎月実施している誕生会に地域の未就園児にも参加していただいで一緒にお祝いすることを企画し、早速9月の誕生会には1名の参加者にお越し頂きました。

誕生会に参加ご希望の方は、いたるセンターのHPの「ピヨピヨおうちえん荻窪駅前」のページからお申込み頂けます。参加者にはお土産も用意していますので是非お気軽にご参加ください。

両園とも今後も地域の保育園として活動をしてまいりますのでよろしくお願い致します。

旬の食材「鮭」

鮭の主な産地は北海道で、国産のほとんどの鮭が水揚げされています。北海道産の鮭の旬は8月下旬〜11月頃で「秋鮭」とも呼ばれています。鮭はたんぱく質、脂質、ビタミン類などの栄養素をバランスよく豊富に含んでいます。「アスタキサンチン」という栄養素も含まれており、トマトや人参に含まれる天然色素と同様の色素成分で、体内で抗酸化物質として働き、がん、動脈硬化を予防する効果やシミ、シワから肌を守る＝老化防止効果が期待できます。



旬の「鮭」を使ったおすすめレシピ「鮭とひじきの炊き込みごはん」

【2合分】		作り方
・米	2合	① 鮭に塩をふる。
・鮭	1切れ	② ひじきを水で戻し、水気を軽く切り(ざるなど)調味料と合わせる。
・食塩	少々	③ 切り干し大根を戻し、しっかり水気を切り細かく切る。
・切り干し大根	7g	④ 普通の水加減にして、①、②、③をのせて炊飯する。
・乾燥ひじき	4g	⑤ 炊きあがったら、鮭をほぐしながら骨を取り除き混ぜれば完成です。
・しょうゆ	小さじ2	
・みりん	小さじ1/2	
・砂糖	小さじ1	

■クローバー・マルコ

統括リーダー 加藤大貴

2024年も10月となり秋を感じられる季節となりました。クローバーでは、支払い方法を現金払いの変更や食事費用、同性介助の年齢引き下げ等の契約内容の一部変更させて頂きました。皆様にご協力を頂き、誠にありがとうございました。今後とも、より良い施設運営を行ってまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

■すまいる高井戸

センター長 阿久津庄司

すまいる高井戸の主となる事業は、相談事業（電話相談、来所面談、訪問面談等）ですが、他にも、様々な事業を行っており、その中の「自立を支援する事業」をご紹介します。

この事業は、当事者活動とプログラム活動に分かれており、当事者活動は主に、平日仕事や作業所等に通っている障害当事者を対象に、月1回、障害別に「つどい会」、「すまネットクラブ」（知的障害の方）、「ナチュラルカフェ」（精神障害の方）という活動があります。それぞれ、障害当事者が主となって活動しています。

次に、プログラム活動ですが、主に平日に行われ、日中サービスを利用されていない在宅の方を対象に行われています。ストベリーカフェ（知的障害の方、月3回）、ラベンダーの会（知的障害の方、月2回）、ラベンダーの会（障害問わず、月1回）などがあります。その他にも「すぎ散歩」（年4回週末活動）、「音楽会」（年2回週末活動）なども実施しています。

このプログラム活動を継続的に利用し、様々な活動や仲間との交流体験を通して、活動意欲が湧いて、通所施設への入所に繋がったという方もいらっしゃいます。ご興味のある方は、一度見学にいらしてみたいかがですか。



一口5千円から始める、地域福祉への貢献。

いたる賛助会にご参加ください

いたる賛助会は、いたるセンターの行う福祉活動を支援するとともに、地域に密着した活動を中心に据え、広い視野で地域に生活する障害者(児)の福祉の向上を目的として、平成11年に発足しました。会員の方々は、いたるセンターのご利用者様の保護者や地域の皆様、当会の主旨に賛同いただいた団体・企業が中心となっています。集められた会費は、主にグループホームの設立や運営をはじめとする「いたる事業支援費」として、地域福祉の向上に充てられます。皆様のあたたかいご支援を、心よりお待ち申し上げております。

いたる賛助会 会長 木村尚文

いたるセンターと賛助会の関係は？

いたる賛助会は、有志会員による独立した団体です。社会福祉法人いたるセンターの事業支援を中心に、広く地域福祉の向上を目的に運営・活動を行います。

2023年度の会費の使途は？

いたる事業支援費として50万円を寄付いたしました。使途については「障害者支援研修・ラーニング・サポーターズ・カレッジ視察費用および公認心理士による職員カウンセリング費用への充当」に充当されます。

もよりの郵便局でかんたん払い込み



いたる広報委員

発行責任者＝谷山 勝崇
社会福祉法人いたるセンター
〒167-0032
東京都杉並区天沼1-15-18
TEL：03-3392-7346
FAX：03-3391-8039
Eメール：info@itarucenter.com
HP：http://www.itarucenter.com/
発行日／2024年10月15日

ご意見・ご感想がございましたら、上記のFAX、Eメール等でお声をお寄せ下さい。
いたる広報委員まで。



もっと知りたい、お知らせしたい。いたるセンターのこと



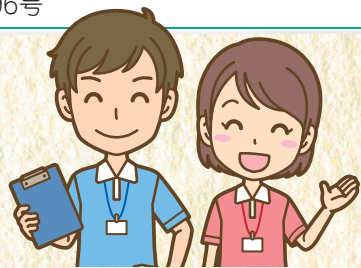
ホームページ



Instagram



フェイスブック



事業部からの情報発信・事業所通信



■阿佐谷福祉工房

施設長 大澤宏



7月5日と7月12日に就労継続支援B型事業部と生活介護事業部がそれぞれ日帰り旅行で横浜の八景島シーパラダイスに行きました。イルカなどの海の仲間たちのショウをはじめ様々なイベントや展示を楽しみました。シロクマのコーナーから動かなくなった方、前回見られなかったイワシショーを楽しんだ方、ご家族へのお土産を一生懸命選んだ方、何よりもランチを楽しみにしていた方、皆様がそれぞれの過ごし方で楽しめました。

9月11日と9月25日にポッチャとモルックを楽しみました。杉並区から指導員に来ていただき、ルールなどを教えていただきました。普段の活動ではあまりない「投げる動作」に夢中になるご利用者も多く、施設全体が熱気に包まれたひと時でした。今後の活動にも取り入れていきたいと思っています。



■イタル成城

施設長 安倍真紀



『アートの秋』

このお祭りは近隣の皆様とのゆるやかなつながりや、世代間交流、防災・障害福祉の普及啓発などを目的としています。

成城8989ネットワーク主催

わくわく WAKUWAKU まつり

10.20日

13:00～15:00 (雨天決行)

会場：成城8丁目（成城8丁目）

内容：アートワークショップ、ゲームコーナー、アートワークショップ、物販（パン、雑貨・文房具）など

会場：成城8丁目（成城8丁目）

お問い合わせ先：成城8989ネットワーク事務局（TEL: 03-6733-8470）

例年にない暑い日が続いていますが、月日は確実に秋に向かっていきます。イタル成城では、10月20日（日）に成城8丁目、エリザベート成城様と合同で『WAKUWAKU祭』を開催いたします。

お祭りではご利用者のアート作品の販売やアートワークショップ、似顔描きますコーナーなどを開催。法人内のパン工房プクプク、目黒本町福祉工房のオリジナルカレーのキッチンカーなども出店されます。

11月4日～10日までは世田谷美術館にてPLAIN ART展を5年振りに開催いたします。ご利用者の日頃のアート活動の数多くの作品の中から選りすぐりの数十点を展示致します。絵画にとどまらず造形物の展示も致しますので、開催中はぜひお越しいただければと思います。

PLAIN ART展2024 世田谷美術館 市民ギャラリー 11/4～11/10

■目黒本町福祉工房

施設長 池田佳津男

9月13日（金）に『本町まつり』を開催しました。今年度も利用者らにぜひご家族の方々のみの参加とさせて頂きました。

これまでは生活介護、就労継続支援B型それぞれの事業部ごとに内容を企画し開催していましたが、今年度はお互いの事業部の催しにも自由に行き来できるようにして楽しんで頂きました。

生活介護事業部のご利用者には色々なゲームを楽しんで頂くとともに、施設入口付近にて自主生産品や屋上菜園で栽培した野菜の販売をして頂きました。また午後には皆で盆踊りをして盛り上がりしました。

就労継続支援B型のご利用者にもゲームを楽しんで頂くとともに、製菓や自主生産品の販売の他、キッチンカーを出動させて一般の方にもカレー弁当を販売し駐車場内に設置したイトインスペースで召し上がって頂きました。

まつりの規模は残念ながら小さくなってしまいましたが、ご利用者が楽しんでいる様子を見ることができてとても良かったと思います。



本町まつり



キッチンカー 出動!!

■さんまるしえ

店長 表尚哉

さんまるしえでは目黒区内にある15の障害者施設で制作された製品を販売しています。最近、雑貨を中心にブランド化する施設さんが増えてきました。

直近では東が丘福祉工房さんが「Rita」を、下目黒福祉工房さんが「RE*BORN」を立ち上げています。統一感と他との差別化が生まれると見た目にも映え、商品の動きも良くなります。これに見習って店内全ての

プライスカードを施設さんごとに色分けしてみました。すると売場が明るくなりお客様にも見やすくなりやすいと好評。ついでに棚卸もしやすくなり業務効率化にも繋がりました。



■あけぼの作業所

施設長 山田弘子



置くだけで、お部屋が癒しの空間に。

あけぼの作業所の生活介護の商品として、「アロマストーン」を作り始めました。たくさんの方々に手にしてもらええる商品となるよう試作を重ね、カタチになりました。石膏製のエンジェルや動物をモチーフにしたデザインを、10種類以上揃えています。11月から販売スタートですので、ぜひお買い上げください。

◎アロマストーンとは…アロマオイルやエッセンシャルオイル（精油）を楽しむための道具です。電気や火を使わず、アロマストーンにオイルを垂らすだけなので、安心して手軽に始められるのが特徴です。

■パン工房プクプク

統括リーダー 池田史暢

2024年7月より外販のイベント販売にてキャッシュレス決済を導入し始めました。目前のお客様の利便性向上もさることながら、インバウンドのお客様への対応も可能となり今後の販路拡大に向けての大きな要素になるかと思っています。現時点ではスタッフへの習得に重点を置いているのですが、今後は利用者様ができるように計画的にトレーニングを行っていききたいと思います。日々製造している安全・安心なパン・焼き菓子を更なる利便性の向上を通して地域に根差した事業の展開をしていきたいと思っています。



■包括ケアセンター・グループホーム マネージャー 水谷泰三

仲秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当事業部の運営に対して格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

グループホーム事業部は、令和5年度コロナウイルスが2類から5類にかわり、昨年度から家族連絡会を再開しました。家族連絡会は、拠点となる施設のある世田谷地区・杉並地区に分かれて2か所で開催し、大勢の保護者の方が参加していただきました。

連絡会の内容としては、事業計画・事業報告をはじめグループホームの老朽化に伴うホームの移転・建て替えの概要をお伝えしました。ご家族から移転についての質問が出るなど和やかな雰囲気のもと無事終わることができました。

家族連絡会終了後、各ホームの家族会を開催し、職員が日々のホームでの利用者様の生活の様子をお伝えし、とてもアットホームな雰囲気で見られました。

今後も、ご家族と交流する場を持っていきたいと思っています。



■サポートウイズ

マネージャー 林平

サポートウイズ事業部は、訪問看護・居宅介護・移動支援・相談室の4事業所が、一拠点でサービスを提供する事業部です。法人内だけでなく、地域住民の皆様にもサービスを提供することで地域貢献にも努めて参ります。

さて、今年の夏も例年通り暑い日が続きました。ご利用者様やスタッフの健康を第一に、エアコンの付け忘れ、外出時の水分・塩分補給の確認など、徹底致しました。また、水分・塩分の補給をしっかりと行い、皆様に安心してサービスを提供できるように努めました。

地域貢献の一環として、相談室では9月24日に地域包括センター主催の地域ケア会議に出席しました。個別課題の解決から地域包括ケアシステムの実現など、皆様がより安心して過ごせる環境づくりに貢献できるよう、ネットワークを広げていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

安心 安全